



# 10月の園だより

令和7年10月1日  
目黒区立祐天寺保育園園長

ようやく秋の気配を感じられるようになりました。暑すぎて遊べなかつた園庭に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。子どもたちが裸足で出でていくと思い出したかのように、水道で水を汲みどろんこが始まります。そんな傍らで1歳クラスの子どもが小さなものに、顔を近づけて「おはよー」と手を振っていました。近くの保育士と「おはようだね」とにっこり笑いあうほのぼの場面ありました。これから季節がいい季節に、戸外での様々な出会いがあります。園庭や散歩先において、子どもたちの活動前に点検し安全を確保してまいります。

さて先日、用務職員が玄関の土間に水を流して掃除をしているところを、3歳クラスの子どもたちが見つけて、一人また一人と集まつきました。「何やってるの?」「それ何?」と手にしている道具にも興味津々です。思い思いの質問を投げながら、しばし見学してから「こんなにきれいになったね」との保育士の言葉に土間をのぞき込んでいました。いつもこうやって保育園をきれいにしてくれていることも、伝えていました。自分たちの生活は、多くの人の手で温かく守られていること、感じていってほしいです。

幼児クラスの子どもたちは今、運動会に向けて準備を進めています。運動会の場でも、見守っていただける温かさを子どもたちに体感してほしいと思っております。



## 〈10月の行事予定〉

- 運動会（2・3・4・5歳児）
- 内科健診（全園児）
- 環境学習（3・4・5歳児）
- 幼児お楽しみ会（3・4・5歳児）
- 芋ほり遠足（4・5歳児）
- 焼き芋会
- 避難訓練・身体計測



## 幼児クラス（3・4・5歳児）

## 一かわいい三羽が並んだよ—

3歳、4歳、5歳クラスで“兄弟すずめ”というわらべうた遊びを楽しんでいます。自分たちで異年齢の3人のグループ（兄弟）を作るのですが、始めた当初は難しくて、保育士が仲立ちとなりなんとか集まるという感じでした。日々繰り返し楽しんでいると5歳児が4歳児、3歳児を迎えて行き、はにかみながらも嬉しそうにお兄さんやお姉さんの手に連れられていきます。歌に合わせてまずは5歳児がスキップで別の場所に飛び立ち、弟たちが来るのを待ちます。次に4歳児が飛び立ち、最後は3歳児が兄すずめのもとへ飛んでいきます。これを3回繰り返していくのですが、全員の



中から自分の兄弟を見つけるのはこれまた至難の業です。3歳児が兄弟を見失っていると、5歳児、4歳児の兄すずめたちが「こっちだよー」と手招きをしながら呼んでくれます。その声に気づき、急いで兄すずめたちの元へいき安心して笑顔を見せています。異年齢の関りの中で、自分より小さいクラスの友達を気にかけたり、お兄さんお姉さんに助けてもらったりする微笑ましい姿が見られています。



## 0・1・2歳クラスの室内遊びの様子をお知らせします

### ちゅうりっぷ組（0歳児）



クマのぬいぐるみを布の上に寝かせてトントンしている子が「ねんねしてるのね」と保育士に声をかけられると、「しー（静かに）」と言っていました。「そうだよね、しーだね」と保育士が小声で話すと、頷いて今度は布ごと抱き上げてゆらゆら揺れています。「次は抱っこでねんねなのね」と保育士が言うと、「うん」とにっこりです。その後は再び布の上で寝かせたり、抱っこしたりとなんだか忙しそうな様子です。同じクラスの友達が保育士に抱っこされ気持ちよさそうに眠ったり、自分たちが布団の上でトントンされながら眠る姿を真似したのかもしれません。

見たり経験したりした身近なことを真似して遊ぶことを楽しみ始めた子どもたちです。



### たんぽぽ組（1歳児）



大型積み木を使って囲いを作ると、子どもたちが「ざぶーん」と言いながら囲いの中に飛び込んで来ます。保育士が「気持ちいいね」と言って水をかける真似をすると、子どもたちも「キャー」と声を上げ、気持ち良さそうな表情をしながら、手で水をかける仕草をしたり、「バシャバシャ」と言いながら手足を動かしたり、「みず、はいった」と言って目をこすったりして水遊びの再現をしています。今度はペットボトルをボディーソープに見立てて身体を洗う子がいると、それを見ていた他の子たちもそれぞれに頭や顔、体をこすって洗う仕草をし、保育士や友達や人形と一緒に洗ってあげている子もいます。洗った後は、「かけて

一」と言って流してもらい、「ふきふき」と言いながら布で体を拭いたりもし、さっぱりしたような笑顔です。

保育士や友達と一緒に、水遊びやお風呂など、日常で経験したことを再現しながら遊ぶことを楽しむようになっています。



### ひまわり組（2歳児）



お部屋の大型積み木を日々色々な物に変身させながらごっこ遊びを楽しんでいます。長くつなげたり、組み合わせたりした物は新幹線になり「京都に行ってきます」とお出かけごっこ始まりです。新幹線の中で食べるおやつや飲み物もしっかり持ち込んで出発して行きます。「もうすぐつくよ」「ついたらごはんをたべよう」と到着してからの計画も友達同士話しています。

別の場面では、大型積み木の上に品物を並べて「わたあめありますよー」と屋台にしたり、バチ代わりのおもちゃで叩いて「おどれますよ」と太鼓にみてて叩いてみたりとお祭りごっこを友達と一緒に楽しんでいます。その中で「1つください」「お待たせしましたー」などのやり取りもたくさん聞こえ賑やかなお祭り会場になっていました。

自分が経験したことを再現して遊ぶことが増え、友達と同じイメージを持って遊ぶ楽しさをますます感じています。遊びを通して繋がりながら、友達との関わりも深めていきたいと思います。

